



先日、とある施設に地域の方々と一緒に行ってきました。近くにありながらもなかなか行く機会もなく、いろいろな意味で勉強になりました。今回はこの体験について思いや考えをお伝えします。

アグレッシブにー

その施設の代表である方が、自らプレゼンをし案内をし、熱く語っておられたことが印象に残っています。これらの役目は、会社で言えば広報担当、神社だとこんねぎ権禰宜の方?と勝手に思っていました。本当にアグレッシブな様子に驚かされました。代表者としてあるべきその姿勢を、見習わなくてはなりません。



数値目標と発信と交流とー

学校現場でも目標を数値で表すことが求められていますが、ここでも同様でした。つまり、成果と課題を数字で出すことが公の施設でも必要なのです。また、こうした機会を設け、地域に発信し交流を図っていく取り組みもまた同じであり、これらが時代の要請でもあると思いました。

仕事の良しあしはー

自身どんな仕事であれ、『分類と整理』が第一歩であると常々思っています。それは整理整頓はもちろん、今ある作業や課題をどのように処理していくかどうかも分類と整理が大切。そしてその観点で、施設の環境に驚かされた次第です。

学校ができることはー

見学を通して一番考えさせられたのは、自分の力で生活していく、ストレートに言えば自力で生き抜くことがいかに大切であるということ。ちまたでうわさのAI(人工知能)の影響で、今ある仕事が将来かなりなくなると聞きますが、要は今子どもたちがどんな仕事につき、どのように社会人として生きていくかどうか。そのために必要な力を身につけさせる役目が学校にあると痛感しました。

